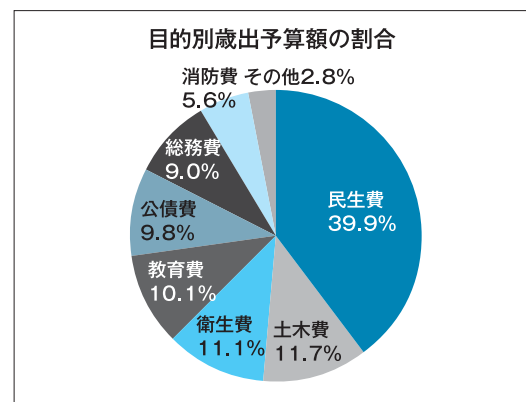


### 3月議会 議案の中から

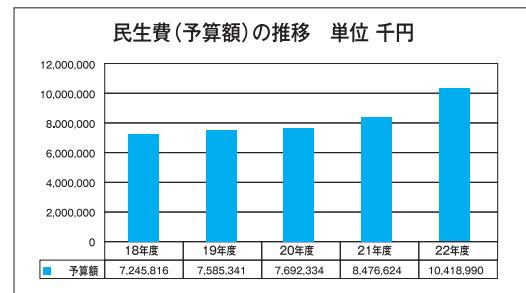
#### 議案第11号 平成22年度鎌ヶ谷市一般会計予算について

一般会計総額261億3000万円の使い道を示す平成22年度予算が可決。私たち鎌ヶ谷市民が納める税金がどのような使われ方をしているのか、明らかにしていくと同時に、住民の方にとってわかりやすい形で示す必要があると考えます。予算審査特別委員会での質疑や鎌ヶ谷市の財政の現状について報告します。

目的別歳出予算の内訳を見ますと、全体の約40%を占める民生費、約104億1899万円は、子ども手当に要する経費(13億4565万円)の創設、生活保護費支給費(約13億8550万円)の増加、待機児童解消対策のための民間保育所の運営に要する経費(約3億1941万円)、市立保育園の管理運営に要する経費(約1億4956万円)の増加、自立支援給付事業に要する経費(約4億9987万円)の増加などの影響を受け、前年より22.9%上昇となった。一方、土木費、約30億4690万円は前年より12.6%減となっている。



後期基本計画における人口推計によると、平成27年には10万7900人をピークに減少に転じ、65歳以上の人口比率は平成32年に32.5%となり、市民の3人に1人が65歳以上になると見込まれている。少子高齢化の影響が避けられない鎌ヶ谷市では、今後も民生費の上昇が予測されている。本当に必要な市民サービスを継続させるためにも、本来、行政が行うべき事業はどういったものか、事業に対する評価等を議論しながら、住民の方に理解していただく必要がある。



#### 予算審査特別委員会での質疑

Q 鎌ヶ谷市の施策評価は19年度から実施しており、この中では同一施策内の事務事業を優先度が高いほうからA、B、Cとして相対評価をし、Cとなった事務事業に対する内部仕分けを行った。115件の事務事業のうち、不要が2件、市の要改善が15件、残りの98件が現行どおりの市が実施という結果であった。要改善の結果であっても、拡充の改善や縮小の改善があるが、要改善15件という結果をもたらされた事業はどのような取り扱いをしたのか伺う。

A 要改善とした事務事業15件のうち、実際に改善としたものは8件、検討した結果、現行通りとしたものが6件、内容が具体的な人事配置に係るため、さらに検討したものが1件。改善とした8件のうち、7件は縮小方向の改善となっており、1件は他部局との連携強化という内容である。

Q 第三者の視点を加えた公開事業仕分けを実施する予定はないのか。また平成21年度に行った内部仕分けを本年度も実施するのか伺う。

A いわゆる事業仕分けを含め、やめる事務事業を洗い出すといった側面での第三者評価については、後期基本計画の開始年度である平成23年度からの実施に向け、平成22年度は制度設計を予定。しかし、実施計画の策定過程では、市民など第三者による、目的を達成するための手段の取捨選択について事前評価を行う予定。また、内部仕分けという手法ではなく、平成23年度から導入予定の第三者評価で行ってまいりたいと考えている。

Q 事業仕分けをする以前に、その事業がそもそも必要なのか、またその事業がコストに見合っているのか、事務事業の評価が大変重要になってくると思うが、事務事業評価の活用について伺う。

A 厳しい財政状況のもと、従来以上に厳しく事務事業を精査していく必要があり、そのために事務事業評価は大変重要であると考えている。平成22年度の事務事業評価では、現状維持の評価項目を廃止し、たとえ継続する場合でも精査、検証とし、細かい内容であっても必ず精査、検証した内容を明記し、不断の事務事業の見直しを求める予定としている。また、評価結果については次年度の予算編成に反映させていく予定。

Q 見直しをしつつも、新規事業は増えていく傾向にある。増えていく一方であると、行政運営のキャパシティを超えてしまうおそれがある。今後は事業の見直し、廃止といった観点も必要になってくると思うが、執行部の認識について伺う。

A 事業の見直しや廃止は、必要不可欠であると認識している。平成22年度は、事務事業評価で従来以上に厳しい精査を行うとともに、後期基本計画、第1次実施計画の策定過程では、市が行っているすべての事務事業を対象とし、施策の目的を達成するために有効な手段の選択といった視点に重きを置いて、事業のスクラップ・アンド・ビルドを進めたいと考えている。



## 松沢たけひと プロフィール

- 昭和50年 鎌ヶ谷市東中沢で誕生
- 昭和57年 みちる幼稚園卒園
- 昭和62年 市立鎌ヶ谷中部小学校卒業
- 平成2年 市立鎌ヶ谷第四中学校卒業
- 平成5年 県立白井高等学校卒業
- 平成8年 アメリカメンフィス大学にて語学研修を受ける
- 平成9年 中央学院大学法学部法律学科卒業
- 平成18年 (株)人形工房 武人設立 代表取締役
- 節句人形師として、日本古来の伝統を守り続ける
- 平成19年 鎌ヶ谷市議会議員 初当選

私、松沢たけひとは34歳と会派市民クラブの中では最年少ではありますが、鎌ヶ谷市議会議員の一人として、市民の皆様に信頼され、そして、期待に応えられるよう行動してまいります。